

コマツ建機販売

適用範囲		型 式		OYC800X	OYC800RX	OYC900X	OYC1100X-2
		適用号機		3011～	3011～	3011～	3011～
		質 量 kg (ロットガード付)		1430	1430	1120	2220
		取付可能機体質量 (単位 t)		10～16	10～16	10～16	18～25
区分	検査箇所	検査項目 (条件)	単位	検 査 基 準 値			
旋回装置	旋回ベアリング	内輪ボルトサイズ	mm	14	14	14	16
		締付トルク	N・m	157～196	157～196	157～196	245～309
			kg・m	16～20	16～20	16～20	25～31.5
		外輪ボルトサイズ	mm	14	14	14	16
		締付トルク	N・m	157～196	157～196	157～196	245～309
			kg・m	16～20	16～20	16～20	25～31.5
油圧装置	シリンダー (図 4-19)	開閉シリンダー L					
		伸縮量	mm	30	30	30	30
		測定時間	分	3	3	3	3
圧砕・切断部	カッター (図 4-20 参照)	カッターの隙間 B					
		基準値	mm	1.0	1.0	1.0	1.0
		許容限度	mm	2.0	2.0	2.0	2.0
	カッターエッジ (図 4-4 参照)	カッターエッジ R					
		基準値	mm	0	0	0	0
		許容限度	mm	3.0	3.0	3.0	3.0
	カッター取付ボルト	ボルトサイズ		16	16	16	16
		締付トルク	N・m	245～309	245～309	245～309	245～309
			kg・m	25～31.5	25～31.5	25～31.5	25～31.5
	圧砕ポイント (図 4-21 参照)	圧砕ポイント C					
		基準寸法	mm	0	0	0	0
		許容限度	mm	40	40	40	40
圧砕ポイント D							
基準寸法		mm	0	0	40	100	
許容限度		mm	40	40	80	150	

コンクリート大割圧砕具

OYC1100RX-2	OYC1350RX-1	OYC1500RX-1	OYC1500RX-3				
3031～	3011	3011～	3013～				
2230	4280	5080	5480				
18～25	30～40	40～48	40～48				
検 査 基 準 値							
16	20	20	22				
245～309	490～608	490～608	662～828				
25～31.5	50～62	50～62	67.5～84.5				
16	20	20	22				
245～309	490～608	490～608	662～828				
25～31.5	50～62	50～62	67.5～84.5				
30	30	30	30				
3	3	3	3				
1.0	1.0	1.0	1.0				
2.0	2.0	2.0	2.0				
0	0	0	0				
3.0	3.0	3.0	3.0				
16	16	16	16				
245～309	245～309	245～309	245～309				
25～31.5	25～31.5	25～31.5	25～31.5				
0	0	0	0				
50	50	50	50				
100	84	86	86				
150	134	136	136				

1. 開閉シリンダー伸縮量の測定

- ①測定具を地面から浮かせた状態で垂直に保持し、アームを全開状態（シリンダー収縮）で行う。
- ②ショベルのエンジンを停止してからホース内の残圧を抜き、a のストップバルブを閉じる。
- ③3 分間経過後に再度 L 部の寸法測定し、その差を伸縮量とする。

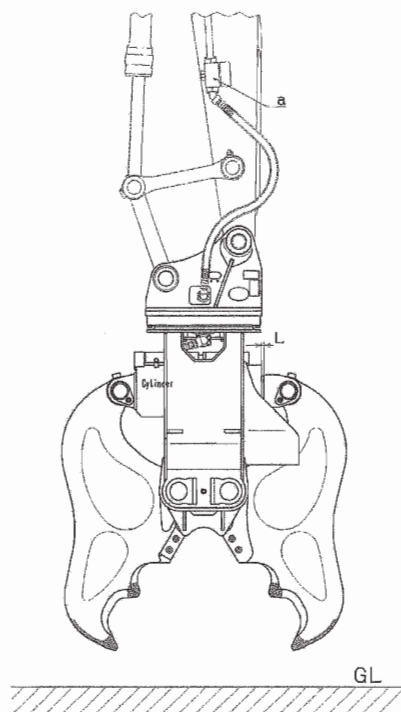


図 4-19 開閉シリンダーの伸縮量測定

2. カッターの隙間測定

- ①本体を水平に置きアーム全開状態（シリンダー伸長）で測定する。
- ②スキマゲージにより A・B 寸法を測定する。

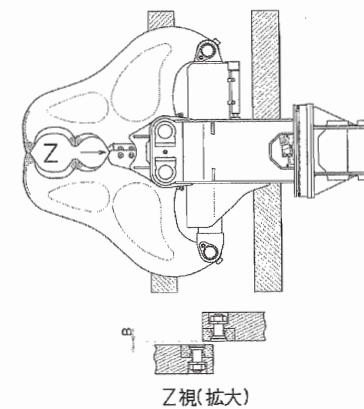


図 4-20 カッターの隙間測定

3. 圧砕ポイントの測定

- ①本体を水平に置きアームを全開状態（シリンダー伸長）で行う。
- ②C 先端ポイント・D 中間ポイントのすき間を測定する。

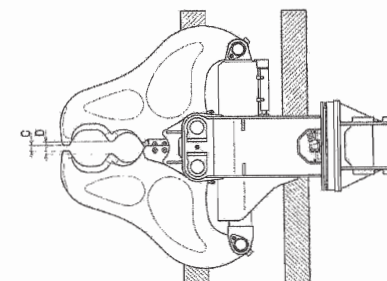


図 4-21 圧砕ポイントの測定